

編集後記

今月から「動物行動の研究から」が始まります。人間とは異なった意味の世界をもつ動物たちの行動を、私たち人間はどう読み取り、その世界をどう理解するのか。六回シリーズで連載です。どうぞお楽しみに。

*

「私の子ども時代」、今回は鈴木さんの昭和初期の都市に育った男の子のお話です。まだ17区しかなかった頃の東京には、牧場があったり、広場もたくさんあり、時間的にも空間的にも、子ども達が自由に動き回る余裕があったようです。「学校は狭いのでたいした遊びはできない」というお話がでて、今ではその狭い学

校が、子どもが自由に遊べる唯一の広い空間となってしまったと、苦笑いになりました。息子の通う小学校では、この冬から、ころんでケガをする子が多いという理由で、「オニごっこ禁止」です。今の子ども達の現実は身動きとれません。

「水雷艦長」は、今では、少しちがいますが「泥警」という遊びに変化していてもおもしろい遊びです。もともとは、明治の頃に軍事思想の普及と啓蒙のために教育的に作られた遊びで、学校の教材として教えられたということです。しかし、「そんな遊びはしなかった」という方もたくさんいらして、自然の山野に恵まれた環境で育った子ども達にとっては、そんなルールのあるゲーム遊びは必要もなかったことが想像されます。

(K)

幼児の教育

第九十四巻 第五号

(一九九五年五月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

発行 平成七年五月一日

編集兼発行人 田代 和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112東京都文京区大塚二一〇一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108東京都港区三田五一一二一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113東京都文京区本駒込

六一一四一九

☎〇三―五三九五―一六六〇四

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレー

ベル館にお願いします。